

2008年1月1日から2012年12月31日までの間に、当院の乳腺内分泌外科で乳癌の手術を受けたT1abNOMO(腫瘍径1cm以下、リンパ節転移、遠隔転移を認めない)、かつホルモン受容体陽性の方へ

臨床研究課題名：ホルモン受容体陽性・HER2陰性乳癌かつT1a/b症例における術後薬物療法の施行状況、および予後の検討

1. この研究を計画した背景

ホルモン受容体陽性乳癌の術後薬物療法として、内分泌療法はそのリスクに関係なく推奨されています。しかし、内分泌療法の有害事象は軽微ではありますが、内服期間は5～10年と長期に及ぶため、有害事象に苦しむ患者さんは少なくありません。

これまでの後方視的研究から、小さな腫瘍径(例：5mm以下)の浸潤性乳癌は、予後良好であり術後薬物療法は不要である可能性があるものの、一般臨床ではほとんどの患者さんに内分泌療法が施行されているのが実際です。

2. この研究の目的

今後、日本臨床腫瘍研究グループ・乳癌グループでは、小腫瘍など低リスク乳癌に対して内分泌療法を省略することの前向き検証試験を予定しています。今回の研究では前向き研究を計画するにあたり、症例数設定、対象群設定などを決定するために、これまでのホルモン受容体陽性・HER2陰性乳癌における術後薬物療法の施行状況、および予後・予後因子の検討を明らかにするために計画しました。

なお、この研究は、以下の研究者によって本院にて実施しています。

研究責任者：乳腺外科 川崎 賢祐

3. この研究の方法

この研究は日本臨床腫瘍研究グループ・乳癌グループを中心とした、多施設共同研究です。研究事務局は名古屋市立大学乳腺内分泌外科となります。

また、対象となるのは2008年1月1日から2012年12月31日までの間に、当院の乳腺外科で乳癌の手術を受け、T1abNOMO(腫瘍径1cm以下、リンパ節転移陰性、遠隔転移を認めない)、かつホルモン受容体陽性の方です。

診療録から年齢、臨床病理学的因子、治療内容、再発状況、生存期間などを調査します。これらの情報を匿名化した状態で、研究事務局へ送られます。

4. この研究に参加しなくても不利益を受けることはありません。

この臨床研究への参加はあなたの自由意思によるものです。この臨床研究にあなたの医療情報を使用することについて、いつでも参加を取りやめることができます。途中で参加をとりやめる場合でも、今後の治療で決して不利益を受けることはありません。

5. あなたのプライバシーに係わる内容は保護されます。

研究を通じて得られたあなたに係わる記録が学術雑誌や学会で発表されることがあります。しかし医療情報などは匿名化した番号で管理されるため、得られたデータが報告書などであなたのデータであると特定されることはありませんので、あなたのプライバシーに関わる情報（住所・氏名・電話番号など）は保護されます。

6. 得られた医学情報の権利および利益相反について

本研究により予想される利害の衝突はないと考えています。本研究に関わる研究者は「厚生労働科学研究における利益相反（Conflict of Interest：COI）の管理に関する指針」を遵守し、研究者の所属機関の規定に従ってCOIを管理しています。

7. この研究は必要な手続きを経て実施しています。

この研究は、地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立広島市民病院病院長が設置する広島市立広島市民病院倫理審査委員会（所在地：広島市中区基町7番33号）において審査を受け、実施することが承認されています。

なお、本委員会にかかわる規程等は、以下、ホームページよりご確認くださいことができます。

広島市立広島市民病院 ホームページ “院内での各種活動状況”

<https://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/guide/info/activity.php>

8. 本研究について詳しい情報が欲しい場合の連絡先

この臨床研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究にあなたご自身のデータを使用されることを希望されない方は、ご連絡ください。

なお、研究の進捗状況によっては、あなたのデータを取り除くことができない場合があります。

広島市立広島市民病院 乳腺外科

連絡先 平日（月～金） 8:30～17:00 TEL(082)221-2291（代表）